

金沢市人口ビジョンの概要

■自然動態・社会動態の推移	
①自然動態	<ul style="list-style-type: none"> 出生数 4,099(2010年) → 2,004(2060年) 死亡数 3,872(2010年) → 6,454(2060年) <p>2015年に減少段階に入り、2060年は4,450人減少</p>
②社会動態	<ul style="list-style-type: none"> 転入数 17,102(2010年) → 14,793(2060年) 転出数 15,918(2010年) → 14,268(2060年) <p>2008年から増加傾向にあり、2060年は525人増加</p>

■自然動態の改善、社会動態のさらなる増加	
①出生数の増加	国目標に準じ、合計特殊出生率を 2020年→1.6 2030年→1.8 2040年→2.07に向上
②転入の増加	移住・定住、UJTIターンの推進により毎年30人の転入増
③転出の抑制	高等教育機関との連携により、毎年市外へ就職する学生 約2,000人の内、200人(1割)の学生を本市に留める
④学生の転出抑制からの若年層の増加	により出生数もさらに増加

■将来人口	
・社人研による推計では2060年に34万7千人まで減少する見込みであるが	2030年までは現状の人口を維持し、2060年には社人研推計に対して 85,000人の増加をめざす。
◎子育て施策の充実による出生率の向上⇒68,000人増加	
◎「学都金沢」の強みを生かした施策の推進による転出者の抑制など	⇒17,000人増加

